

世界23カ国 約140名の高校生に那智勝浦の砂防事業を説明 ～「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山～

～紀伊山系砂防事務所～

那智川では平成23年紀伊半島大水害で、多くの斜面崩壊が発生し、流れ出た土石流により多くの人的被害、物的被害が発生しました。この被災状況やその後の対策状況について、防災分野で将来を担う世代に過去の災害の教訓を伝えることで防災意識向上を図ることを目的に、「世界津波の日2018 高校生サミット in 和歌山」に参加している世界23カ国約140名の高校生に那智川の砂防事業について説明を行いました。

※「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142カ国が共同提案を行い、全会一致で採択されたものです。この日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年（1854年）11月5日、安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際、和歌山県の先人である濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った故事にちなんだものです。

和歌山県土砂災害啓発センター職員による紀伊半島大水害の説明、土石流模型を活用した説明



紀伊山系砂防事務所職員による現地説明（内の川砂防堰堤、鳴子谷川砂防堰堤）



実施場所位置図



開催日：平成30年10月30日（火）午後
場 所：内の川、鳴子谷川
和歌山県土砂災害啓発センター
参加者：世界23カ国144名の高校生

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）

